

## 中国の記事から (WTO/FTA・貿易・安全 ・その他)

---

2007年1月10日号

### 目次

#### ◎2007年の平均関税率は9.8%に下落の見込み

【経済日報 2006年12月27日】

#### ◎商務部「1月第1週の農産物価格指数は108ポイント」

【経済日報 2007年01月10日】

---

#### ◎2007年の平均関税率は9.8%に下落の見込み

【経済日報 2006年12月27日】

財政部は26日、2007年1月1日から一部製品の関税を調整すると発表した。2007年、全国  
の平均関税は9.9%から9.8%に下落する。このうち農産物は15.2%、工業製品は8.92%と  
なる見込みである。各品目の状況は以下のようにになっている。

1. いちごなど44品目の関税を低減。
2. 国は小麦、とうもろこし、もみ、コメ、砂糖、羊毛、綿花など農産物7品目、尿素、リン酸ニアン  
モニウム、複合肥料などの化学肥料3品目を対象に割当制度を実施する。尿素、リン酸ニアン  
モニウム、複合肥料の税率は1%とする。
3. 冷凍鶏肉、ビールなど55品目は輸出入量、または輸出入価格に基づいて関税率を決定して  
いく。
4. 生産過程でエネルギーを大量に消費するステンレス未加工製品、タングステン未加工製品、  
マンガンなどの金属については新たに輸出税を導入する。
5. 石炭、原油などのエネルギー製品については輸出税課税を継続していく。
6. ゴムの輸入税は「税率20%」または「1トンあたり2600元」のいずれか低額のを適用す  
る。
7. 観光客が海外から持ち込む(郵便物も含む)ゴルフボール、高級時計の輸入税は10%から

30%に、化粧品に関税率は20%から50%に引き上げる。

税目調整により2007年に関税適用対象となるものは7646品目となる。

また、中国はASEAN諸国、チリ、韓国、インド、スリランカ、バングラデシュ、パキスタンなどから輸入される製品の一部について最恵国税率より低い税率を適用していく計画である。カンボジア、ミャンマー、ラオス、イエメン、バヌアツ、アフガニスタンなどの30カ国から輸入する製品について特惠税率を適用していく予定である。

---

#### ◎商務部「1月第1週の農産物価格指数は108ポイント」

【経済日報 2007年01月10日】

商務部市場運行司は先ごろ、2007年1月第1週(1～7日)の農産物価格、小物商品価格などを発表した。これによると、同期の全国農産物価格指数は108.7ポイント(0.8%増。前週比、以下同じ)を記録。主要製品40品目のうち価格が上昇したのは27品目、値下がりは12品目となった。食用油の価格は前週より0.39%減、このうち菜種油は同0.9%減、落花生油は同0.37%減となった。食用油は供給が充足しており、旧正月(2月18日)前後に価格が大幅変動する可能性が小さいと予測されている。

また、1月第1週の穀物価格はほぼ安定、小麦粉は1キログラム3.86元(1.58%増)、コメは4.24元(0.24%増)となった。国が備蓄小麦を放出したことで供給不足は緩和されており、旧正月前後の価格も安定する見込み。野菜価格は輸送コスト増大などの影響で同3.14%増となっている。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により 翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て 独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。
--